

令和2年度「新美祢市病院改革プラン」点検・評価報告書

1 令和2年度美祢市病院事業報告

(1) 患者数

ア 市立2病院全体

市立2病院全体の延入院患者数は6万7,457人で、前年度に比し1,475人の減となった。減少理由は、新型コロナウイルス感染症感染患者受入のための病床の一部を休床としたこと等によると考えている。

また、延外来患者数は6万2,507人で、前年度に比し4,729人の減となった。減少理由は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、患者の受診控えや感染予防対策の徹底、病院の長期処方等によると考えている。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は3万8,594人で前年度に比し470人の減、1日平均入院患者数は105.7人で前年度に比し1.0人の減となりました。延外来患者数は、3万6,189人で前年度に比し2,625人の減、1日平均外来患者数は144.9人で前年度に比し10.9人の減となった。

なお、病床利用率は、76.6%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万6,693円、外来1万1,540円となった。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は2万8,863人で前年度に比し1,005人の減、1日平均入院患者数は79.1人で前年度に比し2.5人の減となった。延外来患者数は、2万6,318人で前年度に比し2,104人の減、1日平均外来患者数は108.3人で前年度に比し10.1人の減となった。

なお、病床利用率は79.1%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万5,738円、外来7,022円となった。

(2) 収益的収支

ア 市立2病院全体

令和2年度の市立2病院事業の収益的収支は、総収入35億9,376万5,552円、総支出35億1,725万2,815円を計上し、差し引き7,651万2,737円の純利益となった。

その結果、この純利益に前年度未処理欠損金の7億9,418万9,668円を加え、7億1,767万6,931円の未処理欠損金となった。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入20億5,830万8,863円、総支出21億518万4,330円で、差し引き4,687万5,467円の純損失となった。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入15億4,978万3,777円、総支出14億2,639

万 5,573 円で、差し引き 1 億 2,338 万 8,204 円の純利益となった。

2 令和 2 年度における各種経営指標の数値目標と達成度

○美祢市立病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R 2 目標	R 2 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上:○、90%以上100%未満:△、90%未満:×]					
①入院患者数(1日当たり)					
一般	人	72.7	62.4	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
療養	人	45.8	43.3	△	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
②外来患者数(1日当たり)	人	166.9	144.9	×	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
③救急受入件数(年間)	件	700	653	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
④紹介率	%	50.0	45.9	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
⑤逆紹介率	%	30.0	20.5	×	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
⑥リハビリ件数(年間)	件	22,000	23,327	○	
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下:○、100%以上110%未満:△、110%以上:×]					
①職員給与費対医業収益比率	%	66.3	74.1	×	医業収益の目標未達による
②材料費対医業収益比率	%	16.3	16.4	△	医業収益の目標未達による
③委託料対医業収益比率	%	14.0	14.9	△	医業収益の目標未達による
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上:○、90%以上100%未満:△、90%未満:×]					
①経常収支比率	%	100.2	97.8	△	医業収益の目標未達による
②医業収支比率	%	92.9	84.1	△	医業収益の目標未達による
③資金収支(単年度)	百万円	63	11	×	医業収益の目標未達による

○美祢市立美東病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R 2 目標	R 2 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上:○、90%以上100%未満:△、90%未満:×]					
①入院患者数(1日当たり)					
一般	人	50.8	47.0	△	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
療養	人	37.5	32.1	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
②外来患者数(1日当たり)	人	121.5	108.3	×	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
③救急受入件数(年間)	件	950	687	×	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
④紹介率	%	65.0	54.4	×	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
⑤逆紹介率	%	45.0	41.2	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
⑥リハビリ件数(年間)	件	17,500	24,338	○	
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下:○、100%以上110%未満:△、110%以上:×]					
①職員給与費対医業収益比率	%	78.7	80.0	△	医業収益の目標未達による
②材料費対医業収益比率	%	9.6	10.7	×	医業収益の目標未達による
③委託料対医業収益比率	%	17.0	16.5	○	
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上:○、90%以上100%未満:△、90%未満:×]					
①経常収支比率	%	102.1	108.7	○	
②医業収支比率	%	82.4	79.2	△	医業収益の目標未達による
③資金収支(単年度)	百万円	58	168	○	

3 評価と経営改善に向けた取組み

(1) 評価

- 市立2病院における経営上の大きな問題は、「資金の減少」である。これを防ぐためには、市立病院にあっては、いかに収益的収支を均衡に近づけるかがポイントとなる。

令和2年度においては、収益的収支が約4,700万円の赤字まで圧縮したことにより、資金の流出が止まり増加に転じた。

これは、新型コロナウイルス感染症関連補助金の受入に加え、令和2年度前半において、令和元年度半ばからの地域包括ケア病床の円滑な運用が、令和2年度の入院収益増加に、大きく影響している。

- 美東病院においては、収益的収支において、3,000万円の黒字化を図ることが、資金流出を防ぐための目標となる。

令和2年度においては、収益的収支が約1億2,300万円の黒字となったことにより、資金の流出が止まり1億円以上の資金が留保された。

これは、年度前半の地域包括ケア病床を核とする入院収益の増加に加え、新型コロナウイルス感染症関連補助金の受入によるものである。

(2) 経営改善に向けた取組み

- 令和2年3月に策定した「新美祢市病院改革プラン（全面改定版）」に基づき、取組を進めていく必要がある。
- 具体的には、周辺医療機関との紹介、逆紹介といった地域連携機能の強化や、美祢市立2病院の患者像に合致する地域包括ケア病床へのさらなる機能転換の拡大などで収益性を高め、持続的で安定した経営に引き続き取り組んでいく。
- また、新型コロナウイルス感染症収束後、変化の予想される患者の受診動向を踏まえた病院運営を図っていく。